

医療シリーズ より患者にやさしい低侵襲の電気刺激法

## 尿漏れの低周波治療特集

尿漏れに悩み高齢者が増える中、より患者にやさしい干渉低周波治療が登場し注目を集めている。

### 特別寄稿



大阪中央病院泌尿器科部長  
竹山 政美

昭和49年京都大学理学部卒業。その後大阪大学医学部を卒業し、同大学大学院医学研究科修了。医学博士。昭和61年より健康保険医療組合連合会・大阪中央病院に勤務。市立研病院を経て平成7年より現職。大阪大学医学部非常勤講師。日本泌尿器科学会指導医。

### 女性の尿失禁の種類と治療法

人知れず悩むことの多い、女性の尿失禁という病気に対して最近、手術療法を含め、新しい治療が試みられ良好な成績を収めています。

女性の尿失禁で多いのはおなかに力が入ったら漏れる腹圧性尿失禁、トイレに行きたくなくなったといったなでもれる切迫性尿失禁、腹圧性と切迫性の両方の要素を持った混合型尿失禁の三つのタイプです。

腹圧性尿失禁の原因は骨盤の底を支える骨盤底

の緩みから尿道がぐらぐら動くことが原因で、その大きな要因は妊娠・出産であるとされています。治療は緩んだ骨盤底を再建することで、骨盤底筋体操が推奨され、3カ月程度しっかりといえれば症状が改善することがわかっています。効果が現れるまでの期間が長いので、持続することが難しいのが難点です。手術療法としてTVT手術が広く行われ、優れた成績を収めています。

切迫性尿失禁には、明らかに神経伝達路に異常があるものと、そうでないもの（不安定膀胱など）

### 尿漏れの低周波治療 特集

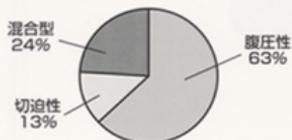
があります。原因は膀胱排尿筋の勝手な収縮のほか骨盤底の緩みもその原因の一つと考えられています。

### 女性の尿失禁と干渉低周波療法

干渉低周波とは、周波数の近い2種類の電流が交差した場所です。新たに生まれる微弱な電流のことを言います。機能的電気刺激療法の一つとして、この干渉低周波を尿失禁の治療に用いる研究は以前から行われ、有効性も確認されてきましたが、2002年に薬事法の承

### 女性の尿失禁のタイプ別の割合

産婦科在住の40才以上の女性968人のアンケート調査より



T. Ueda, International Journal of Urology (2000) 7

認がおり、ようやく臨床の現場で用いることができるようになりました。現在、多くの施設で用いられている干渉低周波治療装置はウロマスターという装置です。当院では2002年に導入後、対象として腹圧性尿失禁や切迫性尿失禁を含む過活動膀胱の症例にこの治療を行ってきました。副作用や合併症を全く認めず安全な治療法であると考えています。1回20分の刺激を、まず最初の1カ月に6回行い、その効果をアンケート調査により分析すると、統計学的に尿の回数や尿失禁の回数が明らかに減少することがわかりました。骨盤底筋体操と干渉低周波治療を同時に行うとより効果的です。3〜6カ月続けることで、軽度の腹圧性尿失禁は治療することも

泌尿器科  
**石井クリニック**  
院長・医学博士 石井 泰憲

診療時間  
月～木 9:00～12:30 15:30～18:30  
金・土 9:00～12:30  
休診日 日・祝

〒330-0074  
埼玉県さいたま市浦和区北浦和4-3-14  
テックビル4階（JR北浦和駅・西口）  
TEL. 048-833-0010  
http://www.e-doctors-net.com  
/saitama/ishii/

あります。切迫性尿失禁では、干渉低周波治療を抗コリン薬（尿失禁の第一選択薬）と、膀胱訓練と併用しながら治療を行います。3〜6カ月後には抗コリン薬を必要としなくなる症例も見られています。費用は保険診療が適用されるため1回1000円程度です。手術を受けるほど重症ではない腹圧性尿失禁の方や切迫性尿失禁に悩んでいるが緑内障があつて抗コリン薬を服用できない方、薬を長期に服用するのに不安のある方などは一度干渉低周波治療を試みてはいかがでしょうか。

尿漏れの悩み まずはご相談下さい